

オスプレイ

佐賀空港配備ノー

市長の受け入れ表明に市民ら

佐賀空港（佐賀市）への陸上自衛隊のオスプレイ配備をめぐり、同市の坂井英隆市長が27日、配備計画の受け入れを表明する臨時会見を開きました。市役所前では「オスプレイ配備反対佐賀県連絡会」の呼びかけで市民ら

が集まり、抗議の声をあげました。坂井市長はこれまで配備について態度を表明していませんでした。

防衛省と確認したと説明しました。しかし、「市民から配備に理解を得られている」と思っては得られないと思つか」など記者からの質問にはまともに答えました。

抗議に参加した日本共産党の、むとう明美県議は「佐賀市長が受け入れたとはいえない市

け入れたとはいえない。わけではない。説明会でも反対や疑問の声が圧倒的多数だった」と強調。井上ゆうすけ県議は「配備されるオスプレイは水陸機動団（長崎県佐世保市）と一緒に運用される部隊。『敵基地攻撃』の先頭に立ち、それを運用する駐屯地になる。配備の容認を許すことできません」と訴えました。



市民にアピールする参加者=27日、佐賀市